富山県立図書館だより　第108号　2025. 3.26

ライブラリィ とやま

特集～高校図書館との連携～

団体貸出とレファレンスサービス

県立図書館では平成17年度より、高校図書館の学校司書が、当館ホームページで公開しているweb-opacで検索したり、当館に直接来館したりすることにより選択した資料を貸し出す「団体貸出」を行っています。当初２校だった登録校も、令和６年度には39校に増加しました。貸出冊数は、令和５年度は557冊、令和６年度（令和７年１月末現在）は661冊となりました。

当館が運行する連絡車を活用し、最寄りの市町村立図書館経由で資料を受け取ることや返却図書を預けることも可能です。

このほか、検索では探し出すことのできない質問や資料に関する調査も当館で受け付け、回答しています。

高校図書館活動紹介展示

令和２年度より当館を会場に、高校図書館の活動を紹介する展示を行っています。令和６年度も３校が、生徒が作成したPOP、毛筆を用いて書かれた本のタイトルや、図書館だよりなどを通じ、それぞれ読書活動を紹介しました。また、全国高等学校ビブリオバトル2024富山県大会で紹介された本や、学校図書館だよりなどで紹介されたおすすめ本などを展示したところ、多くの利用がありました。

展示「県内高校図書館の活動紹介」

電子書籍の活用

令和５年３月より開始した当館の電子書籍サービスを、学校教育にも活用してもらうため、県立学校・学校図書館を対象に、電子書籍用のIDの配布を開始しました。令和７年３月現在、学校図書館対象IDには17校から申請があり、学校司書によるレファレンス業務への活用が期待されます。また、生徒・教職員対象IDには10校から申請があり、授業や探究学習などと連携した活用が行われています（例： 課題学習のテーマに即した参考図書の利用、冬休み期間に英語多読図書を読む、など）。

探究セミナーの開催

令和６年11月２日・23日の二日間にわたり、中高校生向けの内容による「探究力を鍛えよう！！～プロから学ぶ参加型探究セミナー～」を当館で開催しました。富山大学大学院教職実践開発研究科の黒田卓教授を講師に、中高生・社会人延べ10名が参加しました。ChatGPTを活用したテーマ設定を行う際の注意点や、最終的に「自分で考える」「やってみる」、そしてそれらを通して「自分が何を学んだのか」が大切であることなど、課題設定・情報収集・成果のまとめ方等を学びました。参加者自身が県立図書館で資料を探し、調査に活用しました。最終日には、調査した成果をもとに、参加者がポスター発表を行いました。

11/23探究セミナーでの発表

～地価を調べるための資料について～

地価にはいくつか種類があり、それぞれ利用される目的が異なります。また、年代によって調査する媒体が異なる場合があります。ここでは、当館でよく質問のある資料をご紹介します。

種類と概要	当館で利用できる資料	Webサイト
地価公示 国土交通省が公表する、全国の標準地の１月１日時点の土地価格で、毎年３月に発表されます。一般の土地取引の際の目安とされています。	**『地価公示』** 昭和45（1970）～平成31（2019）年 ※以降はWebサイトで閲覧可能です。 	**「不動産情報ライブラリ」** 地価公示、都道府県地価調査、不動産取引価格情報、成約価格情報などを地図表示に重ね合わせて閲覧可能です。 https://www.reinfolib.mlit.go.jp/
基準地価「都道府県地価調査」 都道府県が公表する、基準地の７月１日時点の土地価格で、毎年９月に発表されます。土地取引規制に際しての価格審査などの基準とされています。	**『富山県地価公示・地価調査価格要覧』** 昭和62（1987）～継続中 	
路線価（相続税路線価） 国税庁が公表する、相続税や贈与税を算定する際の基準となる土地価格です。１月１日時点の価格で、毎年７月に発表されます。地価公示の水準の８割程度、とされています。	**『財産評価基準書』** 平成3（1991）～継続中 富山県内の場合「リサーチ･ナビ」→「相続税路線価の調べ方」→「金沢国税局管内」	**「国立国会図書館デジタルコレクション」** 昭和30（1955）～平成14（2002）年 **「財産評価基準書 路線価図・評価倍率表」（国税庁）** 直近7年分が公開されています。 https://www.rosenka.nta.go.jp/

参考文献

『Ｑ＆Ａでわかる地価公示の見方・活かし方』（日本不動産鑑定士協会連合会／編　中央経済社　2019）

『不動産の評価・権利調整と税務　令和6年10月改訂　土地・建物の売買・賃貸からビル建設までのコンサルティング』（鵜野和夫、下崎寛／著　清文社　2024）

国土交通省　主な公的土地評価一覧　https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_fr4_000042.html

～ホームページの類縁機関名簿を更新しました～

図書館の資料を探しても求める情報が見つからないときは、「類縁機関」を頼ってみてはいかがでしょうか。

図書館では、一定量の専門分野の資料を持ち、それを一般公開または限定公開している専門情報機関を「類縁機関」と呼び、資料や情報を求める利用者の方へ案内や紹介をしています。当館では現在、2024年10月に富山県内の各機関に行ったアンケート調査に基づき、ホームページ掲載を承認くださった89機関の所蔵資料やサービス内容等を、ホームページで紹介しています。

類縁機関名簿（当館ホームページ）

公開にあたって条件を設けている機関もありますので、記載事項・利用条件を十分確認の上、ご利用ください。

～県立図書館にデジタルアーキビストが誕生しました～

日本デジタルアーキビスト資格認定機構が認定する「デジタルアーキビスト」に、富山県立図書館普及課の吉村洋紀主任司書が合格し、令和６年９月21日付で認定されました。富山県内の公立図書館司書としては初めての認定となります。

デジタルアーキビストは、文化・産業資源等の対象を理解し、著作権・肖像権・プライバシー等の権利処理を行い、デジタル化の知識と技能を持ち、収集・管理・保護・活用・創造を担当できる人材です。

県立図書館では、平成９年のホームページ開設時より全国に先駆けて貴重資料のデジタル画像の公開を始めました。その後もデジタル画像は数を増やし、平成17年からは「古絵図・貴重書ギャラリー」として貴重資料のデジタル・アーカイブを作成・公開しています。現在も、新たな郷土資料のデジタル画像を公開できるよう準備を進めているところです。

今回認定された吉村主任司書には、デジタル資料の専門職としての誇りをもち、将来に向けて「地域の宝」である郷土資料の保存と活用という責務を果たしていただくことを期待します。

～令和６年度富山県図書館職員研修会～

２月27日、別館多目的ホールにて令和６年度富山県図書館職員研修会を開催しました。この研修会は日本図書館協会地方講習会を兼ねたもので、Zoomによるオンラインでのライブ配信も行い、富山県内および東海北陸エリアの図書館職員あわせて83名の参加がありました。

講師には、株式会社カーリル代表取締役・エンジニアの吉本龍司氏をお招きし、「図書館をもっと楽しく－ICTやAIで『つながる＆つなぐ』図書館サービス」と題して講演いただきました。図書館で情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）などの技術を活用することにより、今まで以上に情報を調べやすくなったり、これまで図書館を利用していなかった人々が図書館に来るきっかけが広がったりすることをとてもわかりやすくお話しされました。運営されている日本最大の図書館蔵書検索サイト「カーリル」をはじめとするサービス事例や、技術開発の根底にある思いなどについてもお話しされ、大変有意義な研修会となりました。

お気軽に おたずねください　レファレンス事例集

Q 美空ひばりの歌「一本の鉛筆」の楽譜はないか。オカリナで演奏したいので、メロディが載っているものを希望。

A 美空ひばりは「悲しき口笛」「リンゴ追分」などで知られる昭和を代表する歌手です。図書館では歌謡曲やその楽譜について質問を受けることがあり、歌謡曲の本やヒットソングの全集なども所蔵しています。

まず『美空ひばり大全集』、『愛蔵版 美空ひばり』など美空ひばり関連の本を確認すると、歌詞はありますが楽譜が載っていません。次に明治・大正以降の歌謡曲約2,000曲を収録した『日本のうた　第1～8集』を見ると多くの曲の歌詞・楽譜が載っていますが「一本の鉛筆」は載っていません。そこで、歌詞に「一本の鉛筆があれば　戦争はいやだと私は書く」という一節があったことから、『戦争が遺した歌』という本を確認したところ、歌詞と楽譜、曲の解説がありました。この曲は昭和49年8月に開催された「第1回広島平和音楽祭」のメッセージソングとして作曲されたもので、ライブ録音には歌とともに美空ひばり自身の戦争経験と、「平和のために、我歌う」との言葉が遺されているそうです。

参考文献

- 『戦争が遺した歌　歌が明かす戦争の背景』（長田暁二／著　全音楽譜出版社　2015年）
- 『20世紀の宝石　美空ひばり大全集』（ドレミ楽譜出版社　2001年）
- 『愛蔵版　美空ひばり』（朝日新聞社　1989年）
- 『日本のうた　第1～8集』（野ばら社　1998～2004年）

～巡回展示「北陸４県の城」と関連講演会を開催しました～

11月19日から12月１日まで、北陸地区県立図書館長会主催の巡回展示「北陸４県の城」を開催しました。この展示は、富山、石川、福井、新潟の順に、各県立図書館を会場に行われるものです。展示では、各県立図書館のおすすめ本20冊のほか、各県立図書館司書のおすすめ本、当館所蔵の郷土の城に関する資料を展示しました。北陸にはたくさんの魅力的な城、城跡があります。ぜひ各県の城を訪ねてみてください。

また、11月29日には関連事業として、とやま歴史的環境づくり研究会代表の高岡徹氏を講師に迎え、講演「３つの城の物語～街道でたどる戦国史～」を開催しました。講演には定員を超える40名の方にご来場いただき、北陸街道近くに築城された願海寺城（富山市）、日宮城（射水市）、木舟城（高岡市）という３つの中世城郭について、城の成り立ちや城下の様子、関わった武将たちにスポットを当てながら、当時の世相について詳しく解説していただきました。

郷土の歴史に関する資料を手に取っていただき、また、講演会に多数のご来場をいただき、ありがとうございました。県立図書館はいつでも、身近な地域の魅力を発信しながら、皆さまのご利用をお待ちしております。

巡回展示「北陸４県の城」

講演中の高岡徹先生

新着読書会テキスト

- 伊与原　新　著　「藍を継ぐ海」（新潮社）～直木賞受賞～
- 桜木　紫乃　著　「青い絵本」（実業之日本社）
- 一色さゆり　著　「音のない理髪店」（講談社）
- 鈴木　結生　著　「ゲーテはすべてを言った」（朝日新聞出版）～芥川賞受賞～
- 楊　双子　著　「台湾漫遊鉄道のふたり」（中央公論新社）～全米図書賞（翻訳部門）、日本翻訳大賞受賞～
- 金原ひとみ　著　「ナチュラルボーンチキン」（河出書房新社）
- 青山美智子　著　「人魚が逃げた」（ＰＨＰ研究所）
- 新川　帆立　著　「ひまわり」（幻冬舎）
- 奈倉　有里　著　「文化の脱走兵」（講談社）～読売文学賞（随筆・紀行賞）受賞～
- 小野寺史宜　著　「モノ」（実業之日本社）
- 朝倉かすみ　著　「よむよむかたる」（文藝春秋）

１タイトルを10冊セットで貸出します。
グループでの読書会にご利用ください。

＜お問い合わせ先＞
富山県立図書館 普及課
Tel.076－436－0229

休館日　毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
館内整理日　毎月第4木曜日（祝日の場合は翌日）、5月8日
蔵書点検期間（令和8年1月27日～2月5日）
年末年始（12月28日～1月4日）

開館時間　火～金曜日（ただし、休館日を除く）午前9時～午後7時
土日・祝日（ただし、休館日を除く）午前9時～午後5時

貸出　1人10冊まで、15日間

交通機関　富山駅前発バス（3番乗場）
・高岡、小杉方面行バス 呉羽山公園下車徒歩10分
・北代循環、新港東口行バス 県立図書館前下車

＊資料のお問い合わせは、調査課へ
TEL（076）436－6812

ホームページ
図書・雑誌の検索や
新着図書の確認ができます

X（旧 Twitter）
図書館の行事など
お知らせをつぶやきます

令和７年度 雑誌スポンサー募集中
詳しくは総務課まで、お問い合わせください。
ホームページでも案内しています。
TEL 076-436-0178

編刊・富山県立図書館　令和7年3月26日
TEL（076）436－0178
FAX（076）436－1891
〒930－0115　富山市茶屋町206－3